

日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1999年(平成11年)

11月19日

第2号

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館

TEL 03-3251-4606

FAX 03-3251-4853

1999年の年次大会を終えて

理事長 福井文雅

開催校である関西大学の方々には台風直撃の心配をなさったようですが、皆様の徳のお蔭で魔事なく第51回大会は終了しました。あの広大な敷地内に五百名になんなんとする大勢の参加者を迎え、大会運営に種々御腐心頂きました北岡正子開催校代表や吾妻重二、河田悌一、坂出祥伸各教授等々の開催事務局の各位とスタッフの方々、雨の中に立って案内役を務められた学生諸君等々にも、学会を代表して改めて御礼申し上げます。

1 開会式の時に私は次のような話を致しましたので、欠席の会員の為に再録致します — 本学会発足当時には会員数が数百人ほどであったのに、現在は二千数百人つまり八倍ほどに増加し、人文科学系の中では突出した大学に成った。特に注目すべきことは、海外会員の増加。発足当初は中国本土の研究者とは勿論のこと、台湾や東南アジア、欧米在住の研究者との交流も皆無に近かったが、現在は違う（ここで、台湾の大地震で罹災された台湾在住の会員に向けて、遙かお見舞いの言葉を申し述べた）。

そのような海外会員の増加につれて、プロとしての我々には（先輩当時には無かった）新しい問題が生じてきた。漢人や欧米人等の研究者に対して、如何にしたら彼等に伍していけるか？ 否、伍していくばかりではなく（国際場裡は友好ばかりではなく、優劣を決める競争の場でもあるから）、如何にしたら彼等の上に行くことができるか？ の問題である。去年の中国学会（早稲田大学）で、オランダのシベール教授は跟中国人一様の漢語を駆使して、見事な講演をやったのけている。如上の問題は先輩の時代には無かったが、今では我々に対応せねばならないように迫られている。

単なる中国愛好家、趣味人は別として、そのようなアマチュアとは一線を画さねばならない専門家は、漢人に追従せず、欧米の研究者とも違った、日本人学者独自の中国研究を内外に展開してみせねばならない日を迎えている。そうでなければ、日本人研究者の存在は何時の日か軽視もしくは無視されてしまうのではなからうか？（某国際会議の時、共同討論の場に日本人参加者は呼ばれなかった事例がある。）以上が、今後にもむけて日本の中国学者に突きつけられている問題であろう。 —

2 閉会式では次のようにも申しました — 伝統的漢学では道教や中国仏教などの宗教研究に関心はほとんど無かった。清朝考証学がいかに精緻であったとは言え、現代の学問レベルから見ると、その点に弱点があった。日本には漢籍についての長い研究の蓄積があり、道教や中国仏教などの宗教研究についても同様である。訓読と言う他国に無い独自の伝統も持っている。これらの王牌を活用せぬ手はない。活用しなければ、研究で他国に負けてしまうだけであろう。外には日本人研究者の独自性を発揮し、内には先学からの学統を継続し発展させる責務が、我々には課せられているのではあるまいか。 —

以上の挨拶は、二十一世紀を目前にし体質改善を迫られていながらも、自分自身では何も出来ない

私個人を省みての、痛切にして恥多き体験に基づく言葉でした。それは近頃益々ひしひしと感じさせられていることでもあります。理事長として初めての御挨拶ということで何か述べねばならず、今省みますと大変口幅ったい所信表明でございましたが、なにとぞ御海容戴きたく存じます。謝謝大家！
一九九九年十月吉日

彙 報

10月2日の総会における決定事項及び諸報告は次の通り。

【議決事項】

- (1)平成11年度事業計画は承認されました。
- (2)平成10年度決算・五十年記念事業等決算及び平成11年度予算案が承認されました。
- (3)次年度の大会開催校は、東京大学（平成12年10月7日・8日開催予定）に決定しました。

【諸報告及び関連事項】

- (1)平成11年度の選挙管理委員は、次の各氏に委嘱されました。（*は重任）
（理事） 戸川芳郎（委員長）
（評議員） 藤井省三・丸山昇
（一般会員） *薄井俊二・*垣内景子・清水浩子・山田利明・遊佐昇
- (2)『学会報』第52集の編集担当校は、北海道大学（責任者は伊東倫厚会員）に委嘱されました。第52集の〈学会消息〉欄の原稿は、記入責任者から北海道大学文学部中国哲学研究室（〒060-0810 札幌市北区北10条西7）宛にお送り下さい。資料は平成11年1月から12月までのものとします。

『学会報』第52集の〈学界展望〉執筆校は以下の通りです。

哲 学 大東文化大学文学部中国文学研究室・代表：倉田信靖会員
（〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1）

文 学 筑波大学文芸・言語学系中国文学研究室・代表：向嶋成美会員
（〒305-8571 つくば市天王台1-1-1）

語 学 慶應義塾大学文学部中国文学研究室・代表：岡晴夫会員
（〒108-0073 東京都港区三田2-15-45）

著書及び論文抜刷などの資料を平成12年1月末日までに上記各研究室宛お送り下さい。掲載資料は平成11年1月から12月までのものとします。

〈学界展望〉につきましては、資料現物の送付とは別に、会員各自同封の用紙（二種類あり）により自己申告していただくことになっております。申告なさる方は、用紙に記入の上、同封の封筒を利用して明年1月末日までにご返送下さい。郵送費は各自ご負担願います。なお、申告が無い場合は、掲載漏れとなることがありますのでご注意ください。また、研究論文目録として掲載不適当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

(3) 『学会報』の掲載論文公募について

締切日 平成12年 1月31日(当日消印有効)

枚数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の〈論文執筆要領〉を遵守して下さい。原稿は必ず郵送、本部持込みは受理しません。また、投稿原稿は返却致しませんので、ご注意下さい。

(4) 本年度の日本中国学会賞は、以下の会員が授賞されました。

哲学部門 表野和江会員(慶應義塾大学)

文学部門 池澤滋子会員(中央大学)

理事長より賞状と賞金(8万円)が贈られました。

訃 報

第50回学術大会以後、次の11名の会員が逝去されました。

西川 徹(北海道) 片岡政雄(東北) 加賀栄治(関東) 許勢常安(関東)
陣ノ内 宜男(関東) 鈴木勝則(関東) 鳴海國博(関東) 芳賀良信(関東)
頼 惟勤(関東) 福田襄之介(中四国) 森上幸義(九州)

総会の席上、上記の方々に対し黙禱が捧げられました。

◎会費納入について

会費未納の方には振替用紙を同封致しますので、至急ご送金願います。なお、数年にわたって未納の方は特にご注意願います。4年にわたって滞納されますと除名となります。

(郵便振替口座: 00160-9-89927)

◎『学会報』送付停止について

平成10年度会費未納の方には『学会報』を送付致しません。会費納入が確認され次第、送付いたします。また、納入の際には、振込用紙通信欄に未送付の『学会報』の号数をご注記下さい。

◎住所変更について

住所・所属機関等の変更は速やかにご通知下さい。通知は書面もしくはFAXにてお願いいたします。電話および会費振込用紙でのお届けはご遠慮ください。

平成11年度文部省科学研究費補助金採択状況一覧

○特定領域研究(A)

原本『老子』の形成と林希逸『莊子ニ斎口義』に関する研究(270万円) 池田知久(東京大学)

古典学の再構築・調整班研究A01「原典」(140万円) 池田知久(東京大学)

東アジアの科学と思想(270万円) 川原秀城(東京大学)

六朝期の著作における伝統の継承と変容(270万円) 興膳 宏(京都大学)

中国における制度と古典一科学制度と言語史・文学史の相関から—(270万円) 平田昌司(京都大学)

西洋近代哲学と中国古典 (150万円)	堀池信夫 (筑波大学)
元明代の散曲研究 (140万円)	金 文京 (京都大学)
韓孟聯句研究 (150万円)	川合康三 (京都大学)
北朝文化の研究—言語学研の考察 (140万円)	木津祐子 (京都大学)
古代・中世の漢文訓読文の文体史的研究 (100万円)	金水 敏 (大阪大学)
漢代における古典の成立と文学の変容 (110万円)	釜谷武志 (神戸大学)
中国古典に現れる通常語についての再検討 (150万円)	木下鉄矢 (岡山大学)
古典としての古典学—宋学文献を中心に (150万円)	土田健次郎 (早稲田大学)

○基盤研究 (A) 一般 (継続)

中国における言語地理と人文・自然地理 (220万円)	遠藤光暁 (青山学院大学)
----------------------------	---------------

○基盤研究 (B) 一般 (新規)

郭店出土竹簡及びそれと関連する出土資料の研究 —中国古代思想史の再構築を目指して— (350万円)	谷中信一 (日本女子大学)
元代禅籍の語学的研究—『従容録』を中心として— (290万円)	佐藤鍊太郎 (北海道大学)
中国西南儺戯における儀礼と芸術研究 (440万円)	稲葉明子 (早稲田大学)
中国における文化批判運動に関する総合的研究 (390万円)	小谷一郎 (埼玉大学)
琉球・中国交流史研究 (250万円)	上里賢一 (琉球大学)

○基盤研究 (B) 一般 (継続)

近代中国思想における西洋思想諸概念の受容に関する総合的研究 (110万円)	有田和夫 (東洋大学)
伊藤仁齋・東涯の諸稿本に関する総合研究 (110万円)	土田健次郎 (早稲田大学)
日本と中国の「基礎教育」に関する比較研究 (130万円)	島森哲男 (宮城教育大学)
四川省成都盆地における巴蜀文化の研究 (210万円)	工藤元男 (早稲田大学)
中国小説・戯曲の発達史における遊民の役割に関する研究 (210万円)	磯部 彰 (東北大学)
中国における通俗文学の発展及びその影響 (360万円)	小南一郎 (京都大学)

○基盤研究 (C) 一般 (新規)

六朝隋唐期道教經典に見える仏教概念の研究 (80万円)	神塚淑子 (名古屋大学)
南宋中期における士大夫思想交流の基礎的研究 (140万円)	市来津由彦 (広島大学)
社会変動期における思想転向の意味—楊度の思想遍歴を通して (110万円)	石川英昭 (鹿児島大学)
中国西南の仮面劇と基層文化の研究 (320万円)	稲畑耕一郎 (早稲田大学)
中国近代文学に表現された「学校」イデオロギーに関する研究 (300万円)	宮尾正樹 (お茶の水女子大学)
中国文学理論の表現形式に関する研究 (120)	和田英信 (お茶の水女子大学)
唐宋期の詩と史学に関するメディア論的研究 (110万円)	浅見洋二 (大阪大学)
中国古小説の類話集成に関する研究 (200万円)	富永一登 (広島大学)
六朝詩語の研究 (170万円)	佐藤利行 (広島大学)
石印版小説と近代小説形成の関係 (90万円)	丸山浩明 (広島女子大学)
中国演劇におけるリアリズム概念の成立と発展 (110万円)	瀬戸 宏 (摂南大学)
魏晋南北朝詩「詩語」集成 (110万円)	松浦 崇 (福岡大学)

○基盤研究 (C) 一般 (継続)

春秋正義の基礎的研究 (50万円)	野間文史 (広島大学)
-------------------	-------------

明治期における「東洋哲学」研究について (50万円) 大島 晃 (上智大学)
宋代道教思想史研究 (50万円) 砂山 稔 (岩手大学)
唐宋士大夫思想における三教交渉 (60万円) 中嶋隆藏 (東北大学)
近代中国における子ども観の社会史的考察：子ども・家族・社会 (50万円)

湯山トミ子 (成蹊大学)
朝鮮版『文選』の総合的研究 (60万円) 磯部 彰 (東北大学)
戦前期台湾作家の東京留学体験に関する系譜的研究 (50万円) 藤井省三 (東京大学)
中国語のディスコースに関する基礎的研究 (50万円) 今井敬子 (静岡大学)
「文革期文学」の基礎的研究 (50万円) 岩佐昌暲 (九州大学)
中国訓詁学関係論文目録と重要文献解説集の作成 (10万円) 福満正博 (明治大学)
近代中国都市芸能に関する基礎的研究 (80万円) 岡崎由美 (早稲田大学)
魯迅書信 (原信) の総合解析 (110万円) 阿部幸夫 (実践女子大学)
西夏文字資料による中国近世語史研究の可能性に関する基礎的研究 (70万円) 大塚秀明 (筑波大学)
上海刊行の「石印鼓詞」と小説、宗教儀礼・宗教演劇のかかわりに関する研究 (60万円)

大塚秀高 (埼玉大学)
東京大学文学部漢籍コーナー所蔵漢籍目録 (増補版) の作成 (40万円) 大木 康 (東京大学)
唐代文学の研究—特に詞の源流に関して— (60万円) 戸倉英美 (東京大学)
現代中国文学と「風刺」に関する研究 (80万円) 弓削俊洋 (愛媛大学)
北宋古文運動と科举制度に関する研究 (60万円) 東 秀寿 (鹿児島大学)
タングモイェンとその改編本による清代口語通時記述の試み (120万円) 落合守和 (東京都立大学)
Ida Pruitt関係資料の収集と整理 (70万円) 山口 守 (日本大学)
四庫全書宋人文集提要に関する実証的研究 (130万円) 笈 文生 (立命館大学)

○萌芽的研究 (新規)

衛星画像を利用した中国宗教地理学構築の試み (140万円) 麦谷邦夫 (京都大学)
初期朝鮮朱子学に関する研究 (90万円) 佐藤貢悦 (筑波大学)
ペルシャ資料による中国語音韻史研究 (90万円) 遠藤光暁 (青山学院大学)

○萌芽的研究 (継続)

漢代より唐代に至る地方志書の思想史的研究 (70万円) 薄井俊二 (埼玉大学)
和漢古典分類語彙の階層化に関する基礎的研究 (50万円) 相田 満 (国文学研究資料館)
中国、朝鮮、日本における孝子説話の総合的研究 (70万円) 金 文京 (京都大学)

○奨励研究 (A) (新規)

魏晋南北朝期における注釈学の歴史的展開に関する研究 (110万円) 古勝隆一 (京都大学)
明末蘇州の思想界 (40万円) 鶴成久章 (福岡教育大学)
郭店楚墓竹簡の利用による戦国儒家思想史の再検討 (70万円) 末永高康 (鹿児島大学)
全相平話二種データベースの構築 (80万円) 二階堂善弘 (茨城大学)
清末民国期における詩讀体講唱芸能の成立と出版に関する研究 (150万円) 上田 望 (金沢大学)
呉語処衢方言群の基礎的研究 (170万円) 秋谷裕幸 (愛媛大学)
中国における「郷土文学」の諸相 (70万円) 秋吉 収 (佐賀大学)

○奨励研究 (A) (継続)

近代中国における「生活の芸術」論—周作人、林語堂、江紹原らによる提唱とその展開 (50万円)
伊藤徳也 (東京大学)

元代における「三国物語」と『三国志演義』の成立 (70万円) 中川 論 (新潟大学)
『山海経』の成立と流伝に関する基礎研究 (30万円) 大野圭介 (富山大学)
植民地時代に台湾総督府が編纂した「日台大辞典」と「新訂日台大辞典」の比較研究 (70万円) 王 順隆 (文教大学)
文体の変遷から見た木魚書の性質について (30万円) 稲葉明子 (早稲田大学)
新発見の秦代封泥についての文字学的研究—“漢字形成史研究”のために— (50万円) 高久由美 (県立新潟女子短期大学)
中国都市近郊農村における都市景観形成メカニズムの研究 (70万円) 小野寺 淳 (東北大学)

○研究成果公開促進費

学術定期刊行物 日本中国学会報 (41万円)

一般学術図書

中国古代の「謡」と「予言」 (150万円) 串田久治 (愛媛大学)
時令説の基礎的研究 (100万円) 久保田 剛
孔子『論語』に関する文献目録 (単行本篇) (40万円) 瀬尾邦雄 (国立鶴岡工業高等専門学校)
宋明の論語 (50万円) 松川健二 (二松学舎大学)
北朝隋唐中国仏教思想史 (190万円) 荒牧典俊 (京都大学人文科学研究所)
魯迅の仙台時代 (100万円) 阿部兼也 (東洋大学)
阮籍・嵇康の文学 (180万円) 大上正美 (青山学院大学)
四庫提要北宋五十家研究 (100万円) 笈 文生 (立命館大学)
文選音決の研究 (150万円) 狩野充徳 (広島大学)
白居易「諷諭詩」の研究 (100万円) 静永 健 (久留米大学)
六朝唐詩論考 (230万円) 清水凱夫 (立命館大学)
柳宗元研究 (210万円) 松本 肇 (筑波大学)
庾信研究 (70万円) 矢嶋美都子 (亜細亜大学)

データベース

重点データベース

電子漢字 (ekanji) (901万円) 電子漢字研究会 代表者 勝村哲也

一般データベース

東洋文化研究所所蔵漢籍目録データベース (C.C.C.) (1216万円)

漢籍目録データベース作成グループ 代表 丘山 新

金沢大学附属図書館所蔵古写本・版本データベース (kanazawa) (222万円)

金沢大学附属図書館所蔵古写本・版本データベース作成委員会 委員長 杉本卓洲

人文科学研究所所蔵中国画像史料データベース (CPM) (735万円)

京都大学人文科学研究所画像史料研究会 会長 井波陵一

西域行記データベース (SAIKI) (203万円)

西域行記研究会 代表 高田時雄

東洋学総合情報システム (CISAS) (939万円)

東洋文庫電算化委員会 委員長 北村 甫

中国近現代文学関係雑誌目次データベース (DJAMCL) (208万円)

中国近現代文学関係雑誌目次データベース作成WG 代表 尾崎文昭